



編集：江戸川総合人生大学同窓会 広報部

同窓会だより

江戸川総合人生大学同窓会 会報
平成 23 年 9 月 30 日発行
第 9 号

会 長 挨拶

江戸川総合人生大学 同窓会会長 島田 久市

オープンキャンパス・ボランティアフェスティバル・大学祭などの行事も終了しました。同窓生の皆さんにはお忙しい中ご協力いただきましたことを感謝申し上げます。

3.11 東日本大震災に関しましては、江戸川総合人生大学挙げての募金活動に総額 685,912 円（うち同窓会 408,559 円）、大変多くの皆さんのお心をいただくことができました。紙面をお借りして厚く御礼申し上げます。被災地の一日も早い復興と被災者の皆さんの笑顔が戻られることを心から願わずにはいられません。

本年 2 月 5 日に、「みと好文カレッジ・さきがけ塾」の皆さんと江戸川総合人生大学学生・卒業生との交流会を当大学講義室で行いました。その時お会いした皆さんが住む水戸市の被害状況が報道されたのは震災発生後 1 週間ほど後でした。あまりの惨状に愕然としました。早速同窓会役員の間で何か出来ないだろうかということ話し合い、クラス幹事会（全体会）にその検討をお願いいたしました。〈さきがけ塾生との交流会開催〉という企画となりました。活動部会が中心となり、さきがけ塾・人生大学事務局・江戸川区文化共育部などと調整し、実行に向け役員はもとより全クラス幹事の精力的なご努力により実現することができました。関係各位に改めてお礼申し上げます。

「みと好文カレッジ・さきがけ塾」交流会

7 月 2 日（土）午前 7 時 30 分、総合人生大学同窓会一行 48 名は、文化プラザ前を出発、水戸へ向かった。「みと好文カレッジ・さきがけ塾」との交流会のためである。常磐道を順調に走り 10 時前に水戸市社会福祉協議会の会場に到着。早速さきがけ塾の有志の方々の震災体験談を伺った。震度は 6 弱。しかし電気、ガス、水道のライフラインが停止した。ガソリンがない、お金が使えない、物々交換。電気製品役立たず、水と食料の確保が大事。

石油ストーブや自転車が頼り。情報は子どもからのメール。人のつながり、助け合いの大切さが身にしみた。などをお聞きしこちらからもお年寄りや子ども達への支えは？などの質疑。有意義なやり取りが交わされた。その後閉園中の偕楽園と紫陽花の保和苑をさきがけ塾の方に案内して頂いた。大洗近辺の海産物店で買い物をして午後 7 時全員無事文化プラザに着いた。同窓会も 5 年になるが今回の事業はいろいろな面で大きな一歩である。お世話いただいた会長はじめ活動部の方ほか役員さん、本当にご苦労さまでした、ありがとう。



広報部 江戸まち 2 期 堀川 和男

オープンキャンパス 2011

7月1日(金)篠崎文化プラザにて、「江戸川総合人生大学オープンキャンパス 2011」が開催されました。大学の雰囲気味わってもらおうと、大学主催で行われる大きなイベントです。この日は4学科の体験授業に続き、北野学長の特別授業「下町のキーワード」も行われました。在校生も受け付け・交流などを手伝い、卒業生は篠崎文化プラザ3階オープンギャラリーでの活動報告を担当しました。

ボランティア団体有志がそれぞれの活動をパネルに仕上げ、体験授業参加者の質問に答えたり、卒業生同士の情報交換も行いました。懐かしい学友とのおしゃべり、展示物の作り方を教えあい、あっという間に過ぎる時間。暑い・熱いそして、楽しい一日でした。

広報部 子ども5期 小杉裕子

笑顔をつなげて！ 夏のイベント報告



ボランティア・フェスティバル

7月10日(日)タワーホール船堀にて「ボランティア・フェスティバル」が開催されました。1階はブース・ステージ・フリーマーケットで各種ボランティア活動を紹介。3階には折紙・手話・囲碁など体験できる「学びと体験コーナー」。5階には民族衣装の試着・動物風船づくりなど「みんなで交流しようおまつり

広場」が設けられました。同窓生のブース参加は江戸川ガイドグループ・モニュメント6・F&Sの会・江戸川アリスの会。ステージではえどがわインドダンサーズがポリウッドダンスを披露しました。今年は梅雨入り、梅雨明けが早く猛暑も続いています。節電時にもかかわらず大勢の来場者があり、ボランティア活動への関心の高さを感じました。また、子ども達にはこのままボランティア活動に興味を持ち続けて欲しいと願っています。

広報部 国際3期 久津のり江

～ちょっと、ひといきコーナー～

木々揺らす 風に色あり 鰯雲

国際3期 梅沢恵子

湯呑買ふ 甘酒横丁 秋ついで

国際3期 安西可絵

人生の 出逢い 不思議を繰り返す 介護2期 安藤洋子

寄稿ありがとうございます。皆さんが感じた言葉をお寄せ下さい。



江戸川総合人生大学 大学祭によせて

第6回江戸川総合人生大学祭が7月30日（土）タワーホール船堀にて開催されました。今回は「学び・ふれあい・豊かな心」サブテーマ「手をつなごう～みんなの絆」を合言葉に、在校生、同窓生が、学びの成果や活動の様子を展示パネル・ステージで発表しました。

今年は1F 展示会場の他、2F 瑞雲の間は、同窓生と在校生の協働のブースとなっていました。

ステージでは、谷口祝三大学祭実行委員長（介6）の開会挨拶に始まり、つづいて同窓会紹介では、島田久市会長（江戸2）より地域の親睦・社会活動の継続・イベントの参画・総合力をモットーに活動していると同窓会活動について話しました。同窓会では被災地水戸市にある「みと好文カレッジ・さきがけ塾」との交流会をパネル展示で紹介しました。

北野学長の講演は「エネルギーと環境問題」について、身近な問題では「原発」があり、わかりやすい講演でした。4学科各学科長のインタビューがありました。

興味をひいたのは「介護・福祉学科は江戸川区福祉部と連携をとっていきましょう。」というお話です。授業の中での反映が楽しみです。また、7月にオープンした「夢のみずうみ村浦安サービスセンター」での見学やボランティア体験なども始まるなど、大学の前進を感じました。

よってこスタジオの紙芝居、在校生の学びの成果が展示され、体験コーナーでは、防災コーナーが設けられていて AED 体験は参考になる、素晴らしい企画なので来年も続行してほしいと思いました。

2F 会場（瑞雲の間）多目的広場では、ダンス、歌、盆踊り、人形劇、フリフリグッパ体操、インド式数学、世界の遊び体験等。同窓会広場では、卒業生出展パネルは昨年より多く 28 団体の活動状況を充分に見学出来ました。

スタンプラリーも実施されました（先着順で素敵な景品盛りたくさん）お子様から大人の方まで楽しんで頂ける催しとなりました。東日本大震災の影響か外国人の姿が少なかったように思います。今年は大学祭終了後、後夜祭が催されました。



<私のボランティア体験>

「人と人・心と心・子ども達のためにつながる」 ～学習ボランティア～

「いいぬまさ～ン！」と声をかけてくれるのが区立鹿本小学校で顔なじみの児童たちである。

「鹿本小教育ボランティア」を立ち上げて4年目、3年生だった児童ももう6年生となり、見上げるように大きくなっている。

このボランティアは同校OBであり江戸川総合人生大学子ども支援学科の先輩、同期生、区内すくすくスクールのクラブマネージャーなど、多くの方からアドバイスをいただき短期間のうちに立ち上げる事が出来た。今日の「鹿本小学校教育ボランティア」があるのも、こうした支援が背景にあったことを忘れることができない。

スタート時は、4名だった陣容も現在は地域住民、江戸川サークル連合会あるいは太極拳の仲間を合わせて24人、その3分の1にあたる8人を総合人生大学出身者で占めている。さらにボランティア活動の輪は、学校の先生を志す現役の国立大学生2名にまで広がっている。“子ども達のために”と気持ちを同じくする人と人とのつながり、心と心のつながりで育った「鹿本小教育ボランティア」である。こうした多くの皆様の強力な協力とご支援なしには、コーディネーターの役目は果たせない。深く、深く感謝している。

寄稿：子ども4期 飯沼 倭雄

ジンと来るエピソード満載の原稿でした。立ち上げに関する場面をまとめさせて頂きました。広報部

事務局より

江戸川総合人生大学では、10月から第8期生を迎えて新学期が始まります。同窓会にも9月6日に卒業式を終えた第6期生が新たに加わり、ますます人材の層が厚くなることと思います。今後も大学祭などのイベント等を通して、在校生と同窓会の交流も深まるでしょう。よりよいまちづくりのために、共に力を出し合い、活動を推し進めていきましょう！ 地域活動の紹介には、是非ホームページもご活用ください！

<http://www.sougou-jinsei-daigaku.net/>

会員の皆様へ 更新のお願い

平成23年度（平成23年10月～平成24年9月）更新の時期となりました。会費¥1000 を下記口座へ振込みをお願いいたします。皆さんでお集まりの際におまとめ頂き、振り込んでいただくか、総会ご出席の際にお持ちいただいても結構です。

銀行名：ゆうちょ銀行 記 号：10160

番 号：9834131 口座名：江戸川総合人生大学同窓会

*お名前のほか学科名、何期生かをご記入下さい。

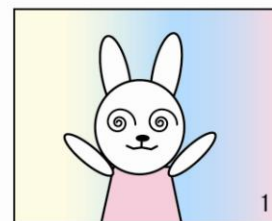
*お振込がすみしたら クラス幹事までご連絡下さい。

ご住所などの変更・同窓会に対するご意見などクラス幹事までお願い致します。 広報部では皆様の寄稿をお待ちしております。

～ご冥福をお祈り致します～

訃報 介護1期 萩原京子さん（78歳） 8月28日逝去

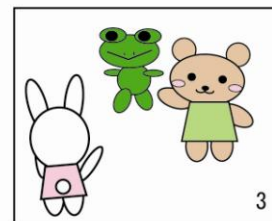
作：広報部 子ども4期 梶原 啓子



震災の後我が家も大変でした。引越してリストラと親との同居。



一段落すると同窓会会議がありました。



皆さんと集まれる幸せにほっとします。



会長とは、必ずお会いできますよ。